

「ドローン用送電線自動追尾撮影ソフトウェア」の概要

1. 概要

- 日本電気株式会社(以下、NEC)が開発した「ドローン用送電線自動追尾撮影ソフトウェア」を DJI 社製ドローンの標準構成品（タブレット）にインストールすることで、送電線の自動検知・自動追尾を可能としたもの。簡易な操作にて、高精細な送電線の映像を自動で連続撮影することができる（別紙 2 参照）。
- 本ソフトウェアの特長は以下①、②のとおり。
 - ① ドローンに搭載したカメラ（ズーム機能付）で送電線を自動検知し、送電線と適切な距離を確保しながら飛行・カメラ制御を行うことで、点検対象を自動追尾し、高精細に撮影することが可能。
 - ② 送電線との離隔距離を測るセンサー等を必要とせず、搭載機器を軽量化できることから、長時間の飛行が可能。
- 実証実験（2019年7月～8月に、福島県の南相馬市ならびに浪江町地内で実施）では、本ソフトウェアを搭載したドローンを活用し、送電線を詳細撮影することで、送電線の状態を点検できることを確認した（別紙 3 参照）。

2. 本ソフトウェア開発における役割分担

- [東北電力]
送電線点検業務の知見提供、ならびに実証実験環境（実設備）の提供
- [NEC]
「ドローン用送電線自動追尾撮影ソフトウェア」の開発、ならびに実証実験時における飛行操作、飛行方法や撮影方法の改善
- [関係自治体]（南相馬市さま、浪江町さま）
実証実験を行った送電線が経過する地区の住民の方々への事前周知

以上